

日本学校心理学会「若手の会」発足のお知らせ

早春の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度日本学校心理学会では理事会後援のもと、「若手の会」を立ち上げることといたしました。本会は、若手研究者、教育者、実践者同士の交流を通して、日本学校心理学会の持続的な発展に寄与することを目的としています（下記趣旨参照）。

①若手の会趣旨

日本学校心理学会若手の会では、心理教育的援助サービスに関わる若手会員間の交流を促進し、若手会員がチームとなって研究・教育・実践を相互に深化させ、学校心理学の今後の発展や社会に貢献していくことを目的とする。

（１）ネットワークの構築（援助資源の拡大）

⇒専門領域や職種にこだわらず、学校心理学全般に渡る若手研究者・教育者・実践者の横の繋がりを広げる。

（２）個人のスキルアップ（自助資源の拡大）

⇒若手会員同士の交流を通して視野を広げ、研究・教育・実践能力の向上につなげる。

（３）学校心理学の発展や社会的貢献

⇒若手会員同士の交流の中から若手研究者・教育者・実践者ならではの斬新な発想を生み出し、学校心理学の可能性を広げる。

②若手の会対象者

日本学校心理学会に所属する会員であり、42 歳以下、または、大学院修士課程もしくは博士課程に在籍中、大学院修士課程もしくは博士課程修了時から 10 年以内に該当する方。

⇒大学卒業後 20 年程度を想定しています。また、社会人大学院等在籍の会員の方にもご参加いただけるよう大学院在籍中、大学院在籍修了 10 年以内の要件を設けました（その場合は年齢の制限なし）。

今後、学校心理学の社会貢献への期待が益々高まる中、若手の研究者、教育者、実践者が積極的に交流し、学校心理学会の発展に寄与できるよう、様々な企画を検討していきたいと存じますので、「若手の会」へのご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

※当面は、若手の会入会申込手続き等は不要とし、年度ごとの企画開催にあわせ参加申込を行っていきたいと考えています。また、今後は、企画への参加者や希望者の方をメーリングリストに登録し、情報発信、情報共有を行っていく予定です。

「若手の会」立ち上げプロジェクトメンバー ・ 第 1 回企画運営委員

石川 満佐育（鎌倉女子大学：チーフ） 新井 雅（跡見学園女子大学） 野村 あすか（名古屋大学）